

令和5年度



新座市学校応援団の実践



新座市教育委員会

令和6年3月

## 新座市教育委員会教育長あいさつ

新座市教育委員会教育長

金子 廣志

近年、いじめや不登校等、学校が抱える課題が多種多様化し、子供を取り巻く環境が急激に変化している中で、学校・家庭・地域が一体となって子供たちを育成していくことがより重要となっております。平成17年から始まった「学校応援団」の取組は、第3期埼玉県教育振興基本計画や埼玉教育の振興に関する大綱においても主要な取組として位置づけられ、推進されております。

このような中であって、学校応援コーディネーターとふれあい地域連絡協議会代表、各中学校区で選出された地域コーディネーターを中心とした学校応援団を、平成20年10月の「新座市学校応援団推進事業実施要項」を基に、市内すべての小・中学校に組織しました。事業実施15年目となった本年度は、1月に地域学校協働活動講演会を開催し、文部科学省CSマイスター、三鷹市教育委員会三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員 四柳 千夏子 氏に御講演いただきました。

講演会は、コミュニティ・スクールという言葉について整理し、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育について理解する場となり、今後一層の推進が期待されるところです。広義のコミュニティ・スクールである学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進している学校について、自分たちの目指す地域組織のイメージを持つことが大切であると。地域に「今ある」強みや魅力を最大限に生かすことが大切であるとのことでした。また、会議を変えていくため話合いに対話や対話のプロセスを大切にし、話合いのルールを設定した「熟議」を行うことで、納得解を導き出すプロセスが見え話合いが自分事になるとのことでした。三鷹市の小・中一貫教育校におけるコミュニティ・スクールでは規則内に児童生徒の意見を聞く機会を設ける内容の記載もあり、子供たちを含め地域一体となった活動を実践されていることが分かりました。

各学校におかれましては、今後の学校応援団事業の推進のため、本実践集を十分活用していただければ幸いです。最後になりましたが、各学校の教育活動にお力添えいただきました学校応援団の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## も く じ

新座市教育委員会教育長あいさつ	・・・	1
もくじ	・・・	2
新座市学校応援団推進事業の概要		
成果と課題	・・・	4
推進事業組織図	・・・	6
学校応援団実行委員会開催要項	・・・	7
学校支援地域本部開催要項	・・・	8
学校応援団事業実施要項	・・・	9
学校応援団活動保険概要	・・・	10
学校別登録団体と活動人数	・・・	12
学校応援団活動回数	・・・	18
文部科学省資料「学校を核とした地域力強化プラン」	・・・	19
文部科学省資料「地域と学校の連携・協働体制構築事業」	・・・	20

### 各学校応援団の実践

大和田小学校	・・・	22	池田小学校	・・・	30	新座小学校	・・・	38
西堀小学校	・・・	23	新堀小学校	・・・	31	新座中学校	・・・	39
片山小学校	・・・	24	東野小学校	・・・	32	第二中学校	・・・	40
第四小学校	・・・	25	栄小学校	・・・	33	第三中学校	・・・	41
八石小学校	・・・	26	石神小学校	・・・	34	第四中学校	・・・	42
東北小学校	・・・	27	新開小学校	・・・	35	第五中学校	・・・	43
野火止小学校	・・・	28	栗原小学校	・・・	36	第六中学校	・・・	44
野寺小学校	・・・	29	陣屋小学校	・・・	37			

# 新座市学校応援団

## 推進事業の概要



## 令和5年度新座市学校応援団 成果と課題

### 学校応援団推進事業の目的

- 教員が子どもと向き合う時間を増やす
- 地域住民の学習成果の活用機会の拡充を図る
- 家庭・地域の教育力の活性化を図る

令和3年度	253団体	11,165人（登録人数）	令和3年12月現在
令和4年度	218団体	12,372人（登録人数）	令和5年3月現在
令和5年度	218団体	12,372人（登録人数）	令和6年3月現在

### 1 令和5年度の成果

#### (1) 学校応援団の組織

- ・新型コロナウイルス5類移行を受け、コロナ禍以前の経験を基にした継続的な活動等、学校応援コーディネーターを中心とした活動が活発になった。

#### (2) 安全面、学習のサポート

- ・学校内の環境整備、登下校時の安全サポート、学習支援により、安心安全な教育活動への手助けとなっている。
- ・様々な体験活動が、児童の情操教育におおいに寄与している。
- ・多くの保護者・地域の方に教育環境の整備のために活動していただき、児童生徒が感謝の気持ちを抱き、学校・家庭・地域のつながりをさらに強めることができた。

#### (3) 広報活動の推進

- ・学校応援団の活動状況を市ホームページで紹介。
- ・各小中学校ホームページに学校応援団に関するページの作成。

#### (4) その他

- ・多くの学校で「読み聞かせ活動」が実施され、児童生徒の読書に対する興味関心の向上や多くの方から見守られていることの実感できる貴重な機会である。

### 2 令和5年度の課題

#### (1) 学校応援団の組織

- ・学校運営協議会と学校応援団の一体的な取組を企画・実施すること。

#### (2) 応援ボランティアの募集

- ・協力者が固定化・高齢化している応援団もあるため、後継者の育成や幅広い募集のあり方を考えていきたい。

#### (3) その他

- ・持続可能な組織づくり、年間指導計画等への位置づけによる、意図的計画的な取組にすることが必要。

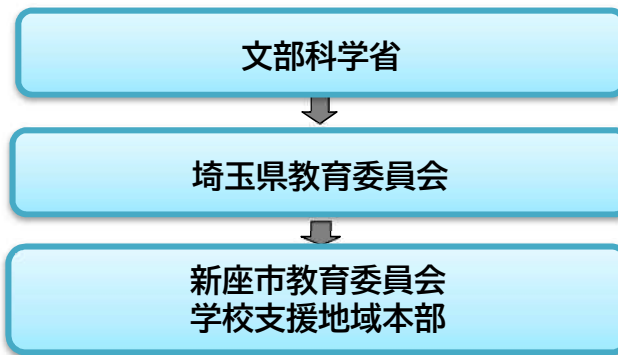
### 3 来年度へ向けて

#### 重点課題

- 1 学校応援団の組織の充実（学校運営協議会との一体的な推進）
- 2 世代交代による後継者の育成や地域人材の発掘
- 3 学校応援コーディネーターの役割の明確化

- ◆ 学校運営協議会との連携
  - ・ 自校の課題に即した取組の実施（一体的推進）
- ◆ 各学校での学校応援団運営会議の定期的な開催（オンラインの活用）
  - ・ 学校応援団同士の連携、学校との連携、ボランティアの募集
- ◆ 学校応援コーディネーター研修会（地域学校協働活動研修会）の充実
  - ・ 講演会、実践発表会、情報交換会、情報提供
- ◆ 学校応援団の活動の広報と効果的なボランティアの募集、参加人数の確保
  - ・ 幅広い層への募集方法を構築していく
- ◆ 学習支援活動の充実
  - ・ 年間計画への位置付けによる教職員との連携、学習支援
- ◆ 学校応援団への感謝を伝える機会づくり

# 新座市学校応援団推進事業組織図



新座市学校応援団実行委員会(15名以内)  
 : 事務局(教育支援課)  
 : メンバー 学識経験者(1名) ふれあいネットワーク会長(1名)  
 地域関係者(6名:地域コーディネーター) 学校関係者(2名) 行政関係者(3名)

## 各中学校区学校応援団

地域コーディネーター1名 ふれあい地域連絡協議会会長 各小学校学校応援コーディネーター

新座中学校区学校応援団	第二中学校区学校応援団	第三中学校区学校応援団	第四中学校区学校応援団	第五中学校区学校応援団	第六中学校区学校応援団
新座中学校 野火止小学校 陣屋小学校	第二中学校 大和田小学校 東北小学校 東野小学校	第三中学校 片山小学校 第四小学校 池田小学校 栄小学校	第四中学校 新開小学校 新座小学校	第五中学校 八石小学校 野寺小学校 栗原小学校	第六小学校 西堀小学校 新堀小学校 石神小学校
各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等	各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等	各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等	各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等	各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等	各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等

## 新座市学校応援団実行委員会開催要綱

(趣旨)

第1条 本市における学校応援団推進事業(以下「事業」という。)の普及啓発、事業の成果の報告等を実施し、事業の効果的な展開を図るため新座市学校応援団実行委員会(以下「実行委員会」という。)を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

(意見を求める事項)

第2条 実行委員会において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

(1) 各校における事業の支援に関すること及び、学校応援団間の情報交換に関すること。

(2) 事業の普及啓発等に関すること。

(3) 前2号に掲げるもののほか、事業に関し必要な事項

(参加者)

第3条 教育長は、別表に掲げる者のうちから、必要と認める者に対して実行委員会への参加を求めるものとする。

2 前項の場合において、教育長は、原則として、同一の者に継続して実行委員会への参加を求めるものとする。

(運営)

第4条 実行委員会の参加者は、その互選により実行委員会を進行するための委員長を定めるものとする。

2 委員長は、副委員長を委員の中から選任する。

3 教育長は、必要があると認めるときは、実行委員会に関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第5条 実行委員会の庶務は、学校教育部教育支援課長において処理する。

(施行の細目)

第6条 この要綱に定めるもののほか、実行委員会に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成20年10月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年6月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年1月1日から実施する。

別表(第3条関係)

1	学識経験者	学識経験者
2	新座市ふれあいネットワーク会長	地域関係者
3	地域コーディネーター (新座中学校区)	地域関係者
4	地域コーディネーター (第二中学校区)	地域関係者
5	地域コーディネーター (第三中学校区)	地域関係者
6	地域コーディネーター (第四中学校区)	地域関係者
7	地域コーディネーター (第五中学校区)	地域関係者
8	地域コーディネーター (第六中学校区)	地域関係者
9	新座市小学校長会 会長	学校関係者
10	新座市中学校長会 会長	学校関係者
11	学校教育部長	行政関係者
12	学校教育部副部長	行政関係者
13	中央公民館長	行政関係者



## 新座市学校支援地域本部開催要綱

(趣旨)

第1条 本市における学校応援団推進事業の推進に当たり、意見又は助言を求めるため、新座市学校支援地域本部(以下「地域本部」という。)を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

(意見を求める事項)

第2条 地域本部において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

- (1) 事業の企画、運営に関すること。
- (2) 各校における事業の支援に関すること。
- (3) 事業の普及啓発に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、事業に関し必要な事項

(委員)

第3条 地域本部の委員は、別表に掲げる職をもって当てる。

(運営)

第4条 会議を進行するための本部長には教育長が当たり、副本部長は学校教育部長が当たる。

2 地域本部の会議は、教育長が必要があると認めるときは、地域本部の関係者に出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第5条 地域本部の庶務は、学校教育部教育支援課において処理する。

(施行の細目)

第6条 この要綱に定めるもののほか、地域本部に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年10月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年1月1日から実施する。

別表(第3条関係)

1	教育長
2	教育総務部長
3	教育総務部生涯学習スポーツ課長
4	学校教育部長
5	学校教育部副部長
6	学校教育部教育支援課長
7	学校教育部教育相談センター室長

# 新座市学校応援団推進事業実施要項

新 座 市 教 育 委 員 会

平成20年10月22日教育長決裁

## 1 趣 旨

家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び家庭・地域の教育力の活性化を図る。具体的には、「学習への支援」「安心・安全への支援」「環境整備への支援」等の活動にあたるものである。

## 2 実施体制

### (1) 学校支援地域本部について

教育長は、必要に応じて新座市学校支援地域本部(以下「地域本部」という。)を開催する。地域本部は、教育長を本部長とする行政関係者を委員とし、事業の企画、運営、各小・中学校に設置される学校応援団における事業の支援、事業の普及啓発等について意見又は助言を行う。

### (2) 新座市学校応援団実行委員会について

新座市学校応援団実行委員会(以下「実行委員会」という。)は、学識経験者、地域関係者、学校関係者、行政関係者を委員とする。実行委員会が必要に応じて開催し、学校応援団間の情報交換、及び事業の普及啓発等について意見又は助言を行う。

### (3) 各小・中学校学校応援団について

「学校応援団」は、各小・中学校における教育活動に協力し支援するために家庭・地域のボランティアで構成する。

各学校には、学校と学校応援団の調整役である学校応援コーディネーターは、家庭・地域ボランティアの代表から一人又は複数名を選出する。

### (4) 中学校区学校応援団について

中学校区学校応援団とは、中学校区の学校応援コーディネーターとふれあい地域連絡協議会代表により構成する。

中学校区に、各小・中学校学校応援団の連携を図り、調整役となる地域コーディネーターを1名配置する。地域コーディネーターは、各学校の学校応援コーディネーターとふれあい地域連絡協議会の代表の中から選出する。

地域コーディネーターは実行委員会に参加し、各学校応援団の要望等を報告するものとする。

附 則

この要項は、平成20年10月23日から実施する。

附 則

この要項は、平成24年6月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から実施する。

## 令和5年度新座市学校応援団活動保険概要

### 1 名称

新座市学校応援団傷害保険及び賠償責任保険

### 2 目的

- (1) 学校応援団活動（学校行事や事業等）に関わる方がさまざまな急激かつ偶然な外来の事故によって障害（ケガといいます）を被り、医師の診断を受けた場合等に以下【傷害保険】5(1)(2)(3)の内容のとおり、保険金を支給するものとする。
- (2) 学校応援団活動（学校行事や事業等）に関わる方が偶然な事由による事故によって第三者にケガを負わせてしまったり物品を破損してしまったりした場合等に以下【賠償責任保険】の内容のとおり、保険金を支給するものとする。

### 3 条件

- (1) 学校管理下であること。
- (2) 学校主体となって組織した団体若しくは個人であること。

### 4 対象

以下の【保険対象】のとおりです。

### 5 補償内容

#### 【傷害保険】

- (1) 死亡・後遺傷害保険金 450万円  
（事故後180日以内に死亡又は後遺症が発生した場合）
- (2) 入院保険金 日額 3,000円（給付・期間日数180日限度）
- (3) 通院保険金 日額 2,000円（給付・期間日数90日限度）

#### 【賠償責任保険】

施設 共通限度額	1事故	5,000万円（免責なし）
受託物	1事故	1,000万円（免責なし）
生産物	1事故	5,000万円（免責なし）

### 6 事務手続き

- (1) 1か月の活動参加者を学校毎にある「学校応援団活動参加者報告書」（Yフォルダ内→教育支援課→●学校応援団→★令和5年度学校応援団活動詳細表にデータ格納）にて活動内訳を集計し、翌月の10日までに同データ上で、月ごとにタブを分けて報告書を作成し格納する（紙の提出は不要。）。
- (2) 8月分も含めて、活動参加者がいない場合も必ず作成する。

### 7 事故処理

- (1) 事故が発生しましたら、速やかに「事故報告書」（Yフォルダ内→教育支援課→●学校応援団→様式）を作成の上、教育支援課まで電子メールを送信

してください。記入内容は以下のとおりお願いします。

- ① 負傷者の氏名・住所・電話番号
- ② 事故の日時・場所・状況
- ③ 怪我の箇所
- ④ 病院名・電話番号
- ⑤ 管轄の学校名・連絡先等

### 【保険対象】

No.	活動分類	主な活動内容
1	読み聞かせボランティア	読み聞かせ、読書指導、音読など
2	校舎内外パトロール	校舎内外のパトロールなど
3	クラブ活動支援ボランティア	クラブ（運動系、文科系）指導
4	授業支援ボランティア	授業においてのお話や、作品づくり（戦争体験、地域の様子、農家の話、職場、就職など） 水泳指導、草花観察、音楽鑑賞、授業において補助（ミシン）、国語（発声の仕方）、特別活動（薬物乱用）、理科（野鳥観察）など
5	学習支援ボランティア	ピアサポーター、学習プリント採点など
6	環境美化ボランティア	花壇づくり、除草作業、ペンキ塗装など
7	給食、清掃指導及び補助ボランティア	給食指導、生活指導補佐員など
8	福祉活動ボランティア	福祉活動
9	清掃活動（校地内外）ボランティア	校庭清掃、校舎清掃、ペンキ塗装、通学路清掃など
10	学校図書館ボランティア	学校図書館業務
11	体験学習ボランティア	農業体験、福祉教育体験など
12	学校行事支援ボランティア	儀式招待、行事招待など
13	農業支援員	農業支援員
14	学校運営協議会委員	学校運営協議会委員

## 新座市学校応援団学校別登録団体と活動人数（学校順）

※有償ボランティアは除く

新座市教育委員会  
令和5年3月現在

学校番号	学校名	活動内容	人数
1	大和田小学校	俳句指導	10
		ミシンサポーター	8
		読み聞かせ	40
		料理クラブ活動支援ボランティア	1
		学校の花壇等花の管理	5
		学校安全ボランティア	47
		<b>合計人数</b>	<b>111</b>
2	西堀小学校	図書ボランティア活動（さくらんぼ）	18
		家庭科学習支援隊	4
		木の子クラブ	4
		めんどり隊（1年生生活指導補佐）	10
		読み聞かせボランティア	20
		お琴クラブ支援	1
		おやじの会	5
		花植ボランティア	2
		西堀見守り隊	35
		わんわんパトロール	20
		登下校見守り隊	3
		西堀フィオーレ	25
		こすずめ隊	3
		<b>合計人数</b>	<b>150</b>
3	片山小学校	図書点検サポーター	73
		学習プリント印刷ボランティア	42
		英語活動ボランティア	2
		家庭科授業支援	20
		読み聞かせボランティア	45
		ベルマーク集計ボランティア	120
		クラブ活動支援	3
		クリーンサポーター	34
		学校美化サポーター	1
		校地周辺清掃サポーター	2
		片山小学校周辺通学路清掃	1
		登下校の安全パトロール	46
		1学校行事応援隊	170
		地域関連事業サポーター	37
		<b>合計人数</b>	<b>596</b>

4	第四小学校	図書ボランティア	6
		おやじの会	20
		おはなしリーフ	45
		クリンネスボランティア	507
		安全ボランティア	56
		登下校の安全指導(馬場町内会)	25
		登下校の安全指導(畑中町内会)	15
		「チロルの森」(ミニギャラリー)・行事支援	60
		合計人数	734
5	八石小学校	保谷アンサンブルによる音楽演奏会	40
		読み聞かせボランティア	30
		茶道クラブ指導	5
		除草活動	50
		学校ピカピカ隊(仮称)	50
		保護者による安全パトロール	233
		野寺町会有志によるパトロール	180
		地域の有志による登下校時の交通安全指導	25
		ペース走記録会お手伝い	50
		運動会会場整理等	30
		合計人数	693
6	東北小学校	体験学習ボランティア	60
		おはなしよむよむ(子どもと本を考える会)	28
		ぴかぴか隊	30
		環境美化ボランティア	1
		花壇のペンキ塗り	15
		北野三丁目防犯パトロール隊	60
		シルバーパトロール隊	2
		校内安全パトロール	577
		アルミ缶回収	50
		合計人数	823
7	野火止小学校	教育シンポジウムサポーター	19
		図書ボランティア	48
		教育農園等サポーター	126
		学習支援ボランティア	30
		読み聞かせボランティア	31
		和クラブ	1
		花いっぱいボランティア	16
		おやじの会	36
		ピカピカサポーター	94
		防犯パトロール	79
		朝のあいさつ運動サポーター	115
		学校行事支援ボランティア(運動会・持久走大会・全遠足)	97
		合計人数	692
8	野寺小学校	学校図書館応援図書スタッフ	30
		学習支援ボランティア	5
		学習指導の支援・活動への補助	150
		読み聞かせ	54
		校舎内外の環境美化活動	52
		登下校の安全パトロール	30
		運動会応援団	495
		合計人数	816

9	池田小学校	学生ボランティア活動	10
		東京ガス、東京電力、ベルク等の民間企業による出前授業	10
		3年まち探検の補助	16
		家庭科学習ボランティア	15
		1年生の昔あそび	12
		読み語り	16
		3年総合 高齢者との交流	15
		囲碁将棋クラブ	3
		学校美化活動	40
		ベルマーク活動	40
		地域防犯パトロールとパトロール隊との交流と日々の安全見守り	38
		学校行事サポート	100
		合計人数	315
10	新堀小学校	図書ボランティア	32
		家庭科支援（調理、ミシン）	10
		陶芸教室	3
		読み聞かせボランティア	30
		和太鼓クラブ指導	13
		茶道	3
		おやじの会	10
		花壇作り	33
		大掃除サポーター	30
		花植え活動	30
		新1年生給食清掃のお手伝い	20
		学校農園作業	2
		登下校の安全パトロール	60
		防犯パトロール	342
		新堀一丁目見守り活動	8
		わんわんパトロールと新堀二丁目見守り隊	62
		新堀三丁目パトロール隊	8
		運動会サポーター	41
		持久走大会ボランティア	30
		学校公開のお手伝い	20
ベルマーク運動	34		
		合計人数	821
11	東野小学校	図書整理・貸出	150
		ぱくぱくッ子ボランティア（食育）	20
		授業内の活動支援	100
		ぱたぽん	50
		花壇の整備	150
		校舎内外清掃ボランティア	60
		登下校時の安全パトロール	200
		父親の会（親の会）	10
		合計人数	740

12	栄小学校	夏季学校図書館開放	15		
		家庭科裁縫実習補助	20		
		お茶会	20		
		昔遊び	10		
		朝読書における読み聞かせ	21		
		卓球クラブ補助	1		
		クラブ補助	1		
		花壇の整備	2		
		親子除草	109		
		おやじの会	8		
		登下校の安全パトロール	30		
		校内外安全パトロール	201		
		合計人数		438	
		13	石神小学校	てしごとこんぺいとう（学校図書館）	23
おはなしこんぺいとう（読み聞かせ）	14				
おやじの会	24				
どろんこの会（環境美化）	19				
スクールガード（防犯・交通安全）	451				
合計人数				531	
14	新開小学校	安全マップづくりボランティア	30		
		1年生生活補佐ボランティア	23		
		生活科 公園探検ボランティア	30		
		生活科 ザリガニつりボランティア	30		
		生活科 公園への冒険ボランティア	30		
		家庭科 ミシン学習ボランティア	60		
		読書 ボランティア	23		
		児童の安全見守りボランティア	4		
		交通安全ボランティア	1		
		生け花ボランティア	5		
		看板づくりボランティア	10		
		七夕かざり製作・設置ボランティア	10		
		節句かざり作成・設置ボランティア	6		
		クリスマスかざり作成・設置ボランティア	10		
		フラワーガールズ	15		
		親子 除草ボランティア 施設補修	200		
		防犯パトロール	200		
		合計人数		687	
		15	栗原小学校	学校図書館応援団	150
				学習・行事応援団	74
読み聞かせ応援団	23				
環境整備応援団	105				
お助けママさん	48				
安全パトロール	318				
地域安全パトロール隊	65				
見守り・あいさつ応援団	30				
合計人数				813	



16	陣屋小学校	図書室掲示ボランティア	20	
		学習支援ボランティア	40	
		読み聞かせ（おはなしびっくり箱）	20	
		クラブ活動支援ボランティア	4	
		スモールガーデン	50	
		清掃活動ボランティア	50	
		シルバーパトロール	15	
		中原防犯パトロール	30	
		合計人数	229	
17	新座小学校	すくすく学習支援	22	
		学習支援ボランティア	20	
		学校ギャラリー管理運営	5	
		給食ボランティア	15	
		学校農園支援	20	
		家庭科ミシン操作支援	10	
		校外学習サポーター	20	
		読み聞かせ	20	
		合計人数	132	
18	新座中学校	読み聞かせ	30	
		中学校部活動指導員（剣道）	1	
		中学校部活動指導員（野球）	1	
		学校の環境を考える会	10	
		除草作業	200	
		校舎内外見回り	840	
		あいさつ運動	60	
		地域交流（作品展示）	1	
		合計人数	1,143	
19	第二中学校	福祉体験活動	10	
		おはなしの雫	25	
		環境整備活動	40	
		下校時の安全パトロール	275	
		朝の声かけ運動	250	
		合計人数	600	

20	第三中学校	図書ボランティア	50
		読み聞かせ	25
		グリーンボランティア	45
		修繕	30
		夏祭り地域見回り	80
		朝の声かけ	70
		学校行事支援活動	85
		合計人数	385
21	第四中学校	読み聞かせ	20
		園芸ボランティア	88
		あいさつ運動	100
		学校行事場外整理	15
		学校協力ボランティア	45
		資源回収ボランティア	30
		合計人数	298
22	第五中学校	部活動ボランティア(吹奏楽)	1
		部活動ボランティア(卓球)	1
		部活動ボランティア(剣道)	1
		緑化活動ボランティア	118
		校外パトロール	45
		朝あいさつ活動	105
		体育祭パトロール	70
		五中フェスタ活動	70
		合計人数	411
23	第六中学校	園芸ボランティア	34
		声かけボランティア	180
		合計人数	214
市内合計人数		12,372	

新座市学校応援団活動回数(学校順)

令和6年3月時点

学校番号	学校名	クラブ活動支援	安全、防犯 (校舎外)	安全、防犯 (校舎内)	学校行事支援	学校図書館	授業・学習支援	環境美化	給食、清掃指導 及び補助	(清掃活動 校地内外)	体験学習	読み聞かせ	農業支援員	福祉活動	延べ回数合計
1	大和田小学校	0	407	0	0	0	79	219	0	0	0	53	3	0	761
2	西堀小学校	11	181	0	28	61	7	0	0	0	0	188	24	0	500
3	片山小学校	0	552	0	66	139	20	34	0	30	0	37	0	588	1466
4	第四小学校	0	231	0	112	66	0	0	0	131	50	96	0	0	686
5	八石小学校	20	371	0	40	0	0	81	0	30	30	21	0	0	593
6	東北小学校	0	133	238	100	0	12	78	0	0	6	112	1	0	680
7	野火止小学校	18	1566	0	299	94	228	180	0	0	46	221	0	0	2652
8	野寺小学校	45	108	0	49	50	100	116	31	0	0	104	36	0	639
9	池田小学校	0	336	0	187	0	132	532	0	0	0	128	13	0	1328
10	新堀小学校	0	4685	0	0	0	34	118	0	0	190	175	0	0	5202
11	東野小学校	0	120	0	16	40	0	165	0	10	0	225	2	0	578
12	栄小学校	0	38	201	0	0	121	22	0	0	37	160	0	0	579
13	石神小学校	0	920	0	18	82	0	67	0	0	0	165	0	0	1252
14	新開小学校	0	56	0	93	0	100	80	28	0	0	147	0	0	504
15	栗原小学校	0	0	153	7	160	196	39	77	0	0	143	0	0	775
16	陣屋小学校	45	77	0	0	3	0	0	0	0	0	66	0	0	191
17	新座小学校	0	0	0	0	0	288	0	14	0	0	87	74	0	463
18	新座中学校	36	0	97	32	0	0	143	0	0	0	181	11	0	500
19	第二中学校	54	939	190	37	0	34	219	0	0	0	130	0	0	1603
20	第三中学校	40	0	112	110	0	0	87	0	0	0	162	0	0	511
21	第四中学校	84	0	0	0	0	9	327	0	0	0	97	5	0	522
22	第五中学校	22	0	193	40	0	0	160	0	0	0	0	0	0	415
23	第六中学校	12	456	0	0	0	12	39	0	0	0	0	9	0	528

総合計延べ回数

22928



# 学校を核とした地域力強化プラン

◇一億総活躍社会の実現と地方創生の推進には、学校と地域が連携・協働し、学校を核として地域社会を活性化していくことが重要。

学校を核として地域の特色を生かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子供たちを育成するとともに、地域の教育力を向上し、一億総活躍社会と地方創生の実現を図る。



## 地域力強化プラン

・地域の特色ある活動を柔軟に支援  
 ・様々な活動を組み合わせる実施

【地域と学校の連携・協働体制構築事業】  
 (6,737百万円)

各地方自治体において、地域と学校の連携・協働体制を構築するために、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」と「地域学校協働活動」を一体的に推進するとともに、地域における学習支援や体験活動などの取組を支援する。

【地域における家庭教育支援基盤構築事業】  
 (75百万円)

地域人材の養成や家庭教育支援チームの組織化など家庭教育支援体制の構築、保護者への学習機会の提供や相談対応・情報提供に加え、児童虐待への対応を含む支援員等に対する研修の強化、保護者に寄り添うアウトリーチ型支援の実施など地域における家庭教育支援の取組を推進する。

【地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業】  
 (338百万円)

「スクールガード・リーダー(防犯の専門知識がある者)」「スクールガード(学校安全ボランティア)」の活用等により、地域ぐるみで子供の安全を見守る体制を整備し、地域社会と連携した学校安全に関する取組を通じて、地域力の強化を図る。

【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】(47百万円)

就職やキャリアアップにおいて不利な立場にある高校中退者等を対象に、高等学校卒業程度の学力を身に付けさせるための学習組織及び学習支援を実施する地方公共団体の取組を支援する。

【健全育成のための体験活動推進事業】(99百万円)

宿泊を伴う様々な体験活動を通じ、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むとともに、自己有用感を高め、自らの役割を意識させるなど一人一人のキャリア発達を促す。また、地域人材や地域資源を活用することにより、異世代間交流や都市農村交流を図り、地域の活性化につなげる。

【地域を担う人材育成のためのキャリアプランニング推進事業】(8百万円)

「キャリアプランニングスーパーバイザー」を都道府県等に配置し、地元企業等と連携した職場体験やインターンシップ及び地元への愛着を深めるキャリア教育の推進等を通じ、地元で就職し地域を担う人材を育成する。

【地域と連携した学校保健推進事業】(8百万円)

養護教諭の未配置校等に対し、経験豊富な退職養護教諭をスクールヘルスリーダーとして派遣し、学校、家庭、地域の関係機関等の連携による効果的な学校保健活動の展開を図り、地域力の強化につなげる。

学校を核とした地域力強化・将来を担う子供たちの育成を通じて、一億総活躍社会、地方創生を実現



## 地域と学校の連携・協働体制構築事業（旧 地域学校協働活動推進事業）

地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による**地域の教育力の低下**や、学校が抱える課題の複雑化・困難化といった社会的課題の解決を目指すとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤として、**地域と学校が連携・協働**し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていくため、「**コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）**」と「**地域学校協働活動**」の**一体的な推進**が必要。

<b>目標</b>	2022年度までに全小中学校区において、幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体等の参画を通じた地域学校協働活動の推進を図る。その際、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との一体的な推進を図る。	
<b>事業内容</b>	「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤となる体制を構築するために、「 <b>コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）</b> 」と「 <b>地域学校協働活動</b> 」を <b>一体的に推進</b> するとともに、地域における学習支援や体験活動などの取組を支援する。 「地域学校協働活動」を推進するため、地域と学校をつなぐ「 <b>地域学校協働活動推進員</b> 」を配置し、地域の実情に合わせた様々な地域学校協働活動の総合化、ネットワーク化を目指し、組織的に安定的に継続できる「 <b>地域学校協働本部</b> 」の整備を推進するほか、コミュニティ・スクールの導入に向けた取組を支援する。これらの活動を通じ、各地方自治体における地域と学校との連携・協働を進め、 <b>社会全体の教育力の向上及び地域の活性化</b> を図る。	
<b>補助要件</b>	①コミュニティ・スクールを導入していること、または導入に向けた具体的な計画があること ②地域学校協働活動推進員を配置すること	<b>補助対象</b> 学校・家庭・地域を取り巻く喫緊の課題の解決に向けた取組に重点化 ①「学校における働き方改革」を踏まえた活動 ②地域における学習支援・体験活動



## 各学校応援団の実践



## 新座市立大和田小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

大和田小学校の学校応援団では、できる「人」ができる「こと」をできる「時」に、できる「範囲」で御支援をいただいている。学校応援コーディネーターが主となってまとめる応援団に加え、昨年度よりPTA組織が役員制からボランティア制になったことにより2つの両輪が連携して、保護者・地域・学校が一体となって活動している。

### 2 事業の計画

- ・学校安全ボランティア…毎日、児童の登下校等の見守り活動を行う。
- ・農業支援員…学校教育農園を管理し、児童の野菜栽培活動を支援する。
- ・学生ボランティア…支援を必要とする児童の生活・学習を支援する。
- ・花植えボランティア…花植えや水やり等、花壇や鉢植えの整備を行う。
- ・ミシンサポーター…高学年の家庭科においてミシンの技術指導を行う。
- ・学校運営協議会委員…年4回、教育活動への助言や学校評価を行う。
- ・読み聞かせボランティア…対面・オンライン配信の両方で読み聞かせを行う。

### 3 事業の実際

#### 「花植えボランティア」の活動の様子

本校では、学校応援団の協力を得て花壇の整備を行い、1年をとおして緑に親しむ校内を整備している。埼玉県の実践で実施している琉球あさがおの「緑のカーテン」は昨年度、台風の強風によりネットが切れてしまったが、今年度ははじめからやり直し、屋上まで生長させることができた。

春や夏の花壇は、花をほとんど購入せず、前年度に種を取ったり、植栽して増やしたりして育てていることも本校の特色である。駅に近い学校であるが、このように作り上げた恵まれた環境の中で児童は学びの多い時間を過ごしている。また、コーディネーターが手作りしている校内の掲示物は、生活科や理科の学習において児童が草花や虫の観察をする際に活用でき、「もっと調べてみたい」という気持ちにつながっている。



### 4 取組の成果と今後の課題

#### (1) 成果

学校応援団と委員会の児童が連携し、多くの種類の花を育てることに挑戦できたことは大きな成果である。一年で終わらせることなく、季節の移り変わりとともに生長を見守り、草花の命の大切さに気付かせるような環境づくりに努めていきたい。

#### (2) 課題

本校は、運動場付近の花壇だけではなく、校舎内の吹き抜け等にも花壇がある。広い反面、整備しきれない箇所もみられるため、より児童が間近でふれることができるように施設面でも整備していきたい。

## 新座市立西堀小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

学校・保護者・地域が一体となり、児童の健やかな成長を目指した学校の教育活動を推進することで、相互の信頼関係を構築する。学校が主体となり、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するとともに、学校・地域・保護者の教育力を高める。

### 2 事業の計画

- (1) めんどり隊……………低学年、特別支援学級の芋掘り等、体験活動の補助
- (2) 読み聞かせボランティア…保護者や地域の方による月1回の朝の読み聞かせ
- (3) お琴クラブ支援……………地域の方によるお琴クラブの支援（毎回）
- (4) 図書ボランティア…図書室の掲示物の作成、学校図書及び図書室の整理
- (5) 西堀見守り隊……………子どもたちの登下校見守り、学区内パトロール
- (6) わんわんパトロール…犬の散歩の際に子どもたちの安全の見守り
- (7) こすずめ隊……………低学年の懇談会の際に、図書室で子供たちの見守り
- (8) 花植えボランティア…学校花壇への花植え、水やり、草取り等
- (9) 木の子クラブ……………工作や自然のものをつかった作品づくりの補助

### 3 事業の実際

「図書ボランティア」による環境づくり

毎月、その月のイベントや季節に沿った掲示物を作成し、子どもたちや来校者の目を楽しませている。

ハロウィンやクリスマス前には、子供たちにも願い事等を広く募集し見事な掲示を完成させた。

特に今年度から活動の場を広げ、図書室前以外に東児童玄関にも新たな場所を展開した。ボランティアながらプロ級の腕前とセンスで学校の環境整備に欠かせない活動をしていただいている。



### 4 取組の成果と今後の課題

本校の学校応援団は、あらゆる教育場面に地域の方々が多く参加し、活動が長年に渡って受け継がれてきている。団体の高齢化と世代の交代が課題であるが、今後も各団体やコーディネーターの方と連携をとりながら、よりよい活動につながるよう調整をはかっていきたい。

新年度には、募集をかけてメンバーの交代や拡充を図りたい。



# 新座市立片山小学校の学校応援団の実践

## 1 実践のねらい

片山小学校応援団は、家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、児童の健やかな成長の基盤づくりを進めるとともに、家庭・地域の教育力の向上及び活性化を図ることを趣旨としている。

実践のねらいは次の3点である。

- (1) 学校・家庭・地域ぐるみの元気な活動の推進。
- (2) 家庭・地域の教育力の向上と学校への積極的な活用。
- (3) 地域の文化や人との交流を通しての児童の健全育成。

## 2 事業の計画

- ・ベルマーク応援団…ベルマークの仕分け、集計を行う。
- ・グリーン応援団…植栽や落ち葉掃きを行う。
- ・読み聞かせ応援団…年3回、朝の時間を使って読み聞かせを行う。
- ・自宅で学校図書室装飾応援団…図書室装飾を自宅で作成する。
- ・学校図書室装飾応援団…自宅で学校図書室装飾応援団が作成した装飾品を組み立て、図書室装飾を行う。
- ・図書点検応援団…図書の蔵書点検の手伝いを行う。
- ・シルバーパトロール隊…毎日、児童の安全確保のために登下校の見守りを行う。

## 3 事業の実際

### 【自宅で学校図書室装飾応援団】

P T A 執行部の方々が、「自宅で学校図書室装飾応援団」の方々に画用紙と指示書が入った封筒を配付し、自宅での作業依頼をする。応援団の方は指示書どおりに自宅で作成し、でき上がったものを、子どもを通し、学校へ届ける。執行部の方々が学校に集まった装飾品を回収し、次に学校図書室装飾応援団につなげていく。

## 4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果
  - ・学校内の環境整備、学習支援、登下校時の安全サポートにより、安心・安全な教育活動への手助けとなっている。
- (2) 課題
  - ・コロナ禍で、地域の方との繋がりが絶たれていたが、次年度以降は、繋がりを大切にしながら活動再開を検討し、子どもたちへの教育に生かしていく。



読み聞かせ応援団による  
読み聞かせ



グリーン応援団による  
植栽と落ち葉掃き



自宅で学校図書室装飾応援団  
による装飾品づくり

# 新座市立第四小学校の学校応援団の実践記録

## 1 実践のねらい

「保護者や地域に開かれた学校」は、本校の目指す学校像の一つである。本校は、開校当時から地域とともにあり、親しまれてきた学校である。56年間の変遷の中で、地理的には学区の南端に位置しているが、地元の方々の温かい思いに守られている学校である。PTA活動も活発で、学校応援団活動と連動している。学習支援や児童の安全確保、校内環境整備などを通して学校の教育活動の充実に貢献していく。

## 2 事業の計画

- ・「チロルの森」運営… 地域の方や専門家の芸術作品を定期的に展示する。
- ・読み聞かせ活動… 読み聞かせリーフ、及び図書ボランティアの方が月2回、朝、読み聞かせを行う。
- ・図書室整備活動… 図書ボランティアが月1回、図書室の掲示や飾り付け、図書整理等を行う。
- ・スクールガード安全活動… 毎日、児童の登下校の安全を確保する。
- ・クリンネス活動… 環境ベルマークボランティアの方が除草や窓拭き、エアコン清掃等を行う。
- ・花の植え替え作業… 環境・ベルマークボランティアの方が学校の正門正面の円形花壇の植え替えを行う。
- ・花壇整備… 花植えボランティアの方が正門横の「四小スマイルサポートガーデン」の管理を行う。
- ・地域探検引率… 学習ボランティアが地域探検の引率を行う。

## 3 事業の実際

今まであった「チロルの森」の運営、読み聞かせ、スクールガード安全活動に地域の花植えボランティアの方が加わり、さらにPTA活動からシフトした図書ボランティア、環境・ベルマークボランティア、学習ボランティアの学校応援団活動が加わった。



## 4 取組の成果と今後の課題

### <取組の成果>

チロルの森では、地域の方が美術館をつくってくださっている。また読み聞かせは、地域の方がよく来てくださっている。どちらも子供たちがとても楽しみにしている。地域の方も楽しく取り組んでくださっていて Win-Win の関係である。花植えボランティアの方も「家の庭だと狭くて」と学校の花壇で喜んで花植えをしてくださっている。また自主的に児童の「登下校時安全見守り」に出てくださいる方々もいる。

学校の教職員の負担軽減と児童の教育活動の充実に寄与して下さって本当にありがたかった。

### <課題>

PTA活動からボランティア制にしたことで、人手は減ってしまったが、学校応援団としてさらに充実させていきたい。

## 新座市立八石小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

学校・家庭・地域の教育力を高め、子どもたちの生きる力をはぐくむことを目的に、日々連携・協力して学校応援団活動に取り組んでいる。実践のねらいは、学校・保護者・地域が、三位一体となり、本校の学校教育目標である「なかよく かしく たくましく」を率先垂範し、笑顔あふれる学校づくりを推進することである。

### 2 事業の計画

- (1) 茶道クラブ活動指導 … 4・5・6年のクラブ活動の指導を月3回程度行う。
- (2) 野寺町会安全パトロール … 登下校の見守り、校区内のパトロールを行う。
- (3) シルバー見守り隊 … 児童の登下校の見守り、校区内のパトロールを行う。
- (4) 環境美化ボランティア … 学期に1回校舎内外の清掃活動を行う。プランターの花植え、花壇整備、校庭の除草と学校敷地内の草刈り等、学校環境の美化活動を行う。また、運動会前にシルバーさんを中心に校庭の除草活動を行う。
- (5) 学習・行事応援団 … 学習支援（手縫い・ミシン学習、校区内探検の見守り）（運動会終了後の片づけ）
- (6) 読み聞かせボランティア
- (7) 保谷アンサンブルによる演奏会



### 3 事業の実際

今年度は、校区探検の際の安全支援、手縫いやミシン実習の学習支援など、保護者や地域の方々に協力を呼びかけ、ご支援をいただくことができた。

5, 6年生の家庭科における手縫いやミシン実習は、担任だけでは個に応じたきめ細かい指導や支援を行うことが困難なため、3～4名の支援者がいることで、円滑に授業を行うことができた。地域の方も楽しそうに児童を手伝う姿が印象的であった。



### 4 取組の成果と今後の課題

学校応援コーディネーターと連携し、読み聞かせや学習支援のボランティアをスクールメールや手紙、個別のお願い等で募集し、実施することができた。その中で、ボランティアの方が笑顔で活動している様子から、支援する側にとっても、学校応援団の活動は、やりがいになっていると感じた。また、教職員の心に余裕をもつことにもつながったと思う。

今後も保護者や地域と教職員の連携を一層深め、組織の拡充を図り、コミュニティスクールの核の一つとして絆を深める学校応援団の充実を行っていききたい。

# 新座市立東北小学校の学校応援団の実践

## 1 実践のねらい

本校の学校応援団は、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの教育を支援するために、家庭・地域の教育力を結集していく組織である。「できる人ができる時にできることを」をモットーに、学校応援コーディネーターが中心となり、よりよい学校づくりのために活動している。

## 2 事業の計画

### ○ぴかぴか隊

- ・花壇の整備や除草、樹木の剪定等、校舎外の整備を実施

### ○おはなしよむよむ

- ・月2回の朝の時間に読み聞かせ、学期1回の学級文庫の整理、年に数回の1単位時間を使ったお話の会（特別読み聞かせ）を実施（第1学年：12月19日、第2学年：6月30日）



### ○安全・防犯ボランティア

- ・北野・東地区パトロール隊を母体とし、校外安全パトロールを実施（月～金曜日1日2回、児童の登下校の見守り）

### ○学習ボランティア

- ・校外学習（地域見学など）の付き添い、校内音楽会保護者誘導、漢字検定の補助等、児童の学習をサポート

## 3 事業の実際

### ○学習ボランティア

2学期の6年生の総合的な学習の時間「私たちの国の歴史文化再発見」において、地域在住の方に華道・茶道の講師となっただき、日本の伝統文化についてご指導をいただいた。



子供たちは、それぞれの体験を通して礼法やしきたりなど日本の伝統を学ぶことができた。また、相手を思いやる心の大切さを学び、現代にまでつながる日本の文化を再発見した。

## 4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果 様々なサポート及び体験活動を通して学校教育が充実し、環境が整備された。
- (2) 課題 地域の新たな人財の発掘が困難になってきている。PTA及び学校運営協議会との連携を図っていく。

## 新座市立野火止小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

「元祖コミュニティ・スクール指定校」として、「地域とともに豊かな学びを創造し、地域の絆を深める学校づくり」の推進をめざして信頼関係の構築を図るとともに、地域の豊かな教育力を学校の教育活動に積極的に取り入れることで、保護者・地域に開かれた学校づくりをめざしている。

### 2 事業の計画

- (1) 見守り隊…毎日、登下校時に児童の安全確保のための見守り活動を行う。
- (2) 学習支援ボランティア…①新1年生の生活・給食指導の補助。  
②家庭科のミシン・調理実習の学習補助。  
③生活科見学・校外学習の際の交通安全補助。
- (3) 花いっぱいボランティア…毎週火曜日、校内の花壇等の植え替え、手入れ、草刈り等を行う。
- (4) クラブ活動指導員…クラブ活動の際、茶道の指導を行う。
- (5) 図書ボランティア…月1回、図書室の整備及び掲示物「のびっこの木」の作成、図書室の季節の飾り付け。
- (6) 読み聞かせボランティア…月1回、朝読書で10分間読み聞かせを行う。
- (7) 農業体験支援ボランティア…5年生「のびっ子田んぼ」の田植え、稲刈り、脱穀、精米までの学習支援を行う。
- (8) おやじの会…運動会での会場の片付け。PTA との共同企画。

### 3 事業の実際

- (1) 花いっぱいボランティアの活動の様子

季節に合った花の植え替え、手入れ、除草作業など、毎週活動している。天候の悪い日は無理せず活動中止にしている。メンバーの地域の方は毎日様子を見に来て環境委員と水やりをしてくれている。児童は美しい花が玄関を彩っている様子を毎日見ることで豊かな心を醸成している。



- (2) 農業体験支援ボランティアの活動の様子

「のびっ子田んぼ」の支援は、前年の反省をもとに日当たりを考えて木の枝の剪定や土づくりを行っている。児童はよい食べ物を作るための努力についても身をもって学習している。



### 4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果…PTA のグリーンサポーターの活動から花ボラに参加するようになった方もいる。地域の方も多く参加されていて、無理のない参加の仕方での活動の輪が広がっている。
- (2) 課題…持続可能にするため、各ボランティアとの連絡調整や人員募集、無理のない活動について工夫していきたい。

## 新座市立野寺小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

本校は、学校環境整備への協力、学習活動の補助、児童の安全確保への協力を通して、保護者・地域・学校が共に連携して学校教育活動を一層充実し、コミュニティ・スクールとして児童の育成を図っていくことをねらいとしている。今年度は活動する機会をさらに増やせるよう実践を重ねた。

### 2 事業の計画

- ・行事（運動会、除草、体力テスト等）補助
- ・学校花壇の花植え
- ・学期末の大掃除補助 窓清掃 エアコンフィルター等清掃
- ・図書室の飾りつけ、読み聞かせ
- ・農業学習支援 ・裁縫及びミシン指導等補助 ・クラブ、委員会補助
- ・校外学習における安全確認 ・地域安全パトロール

### 3 事業の実際

本年度から、クラブ・委員会活動応援団、行事応援団 が始まった。手芸やパソコン指導や理科の実験補助など、地域の方にもご協力いただき実施できた。

また、運動会前には除草作業を行い、児童が保護者、地域の方と一緒に校庭をきれいにする事ができた。

さらに、体力テストや2年生のかけ算九九暗唱など、学習面でも応援団の方にサポートしていただいた。



### 4 取組の成果と今後の課題

#### (1) 成果

- ・応援団によるクラブ・委員会支援は、子供たちの活動意欲を高め、「教えてほしい。もっとやりたい」という声がかかるようになった。
- ・クラブや除草作業などでは、今まで学校に来る機会がなかった地域の方が参加してくださり、学校への関心をもつていただくよい機会となった。

#### (2) 課題

- ・学校のホームページで応援団について紹介したり活動写真を掲載したりしているが、ご協力いただけるのが一部の保護者である。
- ・地域の方が参加できる機会を増やし、協力者を増やす。

# 新座市立池田小学校の学校応援団の実践

## 1 実践のねらい

- 学校教育目標「健康で よく学ぶ 心のゆたかな子」の具現化を図る
- コミュニティ・スクール推進のための取組として、地域を知り、関わり、地域の人材・環境を学校に取り込む

## 2 事業の計画

参加する保護者・地域の方々個々の特性を活かした活動を可能とするチーム編成による学校教育への支援を要請する。

- (1) 花いっぱい・食育応援チーム
  - ・年間を通じて花に囲まれた学校環境の整備。PTA 環境美化部を中心とした、花の植栽や休日の水やり等も含めた管理
  - ・学校教育農園の活用。農業支援員との連携による食育の推進
- (2) 学校行事・学習応援チーム
  - ・運動会、芸術鑑賞会、持久走記録会等の行事サポート
  - ・読み語りなど、年間を通して継続的に行う支援
  - ・家庭科のミシン授業補助（今年度も見合わせ）
- (3) 子供見守り応援チーム
  - ・下校時や放課後等の地域の見守りサポート
  - ・全家庭による見守りパトロール
- (4) 環境美化ボランティア
  - ・年間2回校庭の環境整備を実施

## 3 事業の実際

学習応援チームによる読み読みの様子

各学期2回、年間6回、昼読書

毎週水曜日(13:35～13:45)の時間を活用し、学級ごとに行われている。

誰でも取り組めるように読み読みに限定せず、児童とのコミュニケーションを図れるよう工夫した。



## 4 取組の成果と今後の課題

### (1) 成果

少人数で学校図書館環境の整備や学校農園を活用した食育の推進など、保護者・地域住民それぞれの立場から学校にご尽力いただいた。

### (2) 課題

少人数精鋭で臨んだが、参加者が一部で偏りができている。学校行事等への早めの情報提供に心がけたい。

## 新座市立新堀小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

児童の健やかな成長を目指して、学校・保護者・地域が一体となり、地域の教育力を学校の支援につなげるために、学校応援団を組織している。三者の連携を深めることをとおして学校教育の充実を推進するとともに、学校・保護者・地域それぞれの教育力を高めていくことをねらいとする。

### 2 事業の計画

- (1) 学校行事保護者応援団…校外行事の安全見守り・サポート
- (2) 見守り応援団（わんわんパトロール含）…登下校中の安全の見守り
- (3) 学校運営協議会…教育活動への意見具申、学校運営の評価、校内巡視
- (4) 楽農会…学校教育農園の維持、管理、農業体験活動の補助
- (5) 読み聞かせ…月1回、朝の時間に読み聞かせ
- (6) エレガンスの会…月1回のハンドマッサージ、児童への声掛け
- (7) 国際交流サポーター…CAJ交流やイマージョンプログラムの通訳等

### 3 事業の実際

- (4) 楽農会…学校教育農園の維持、管理、農業体験活動の補助

毎週月曜日、業間休みに来校いただき新堀小ファームで野菜の栽培を中心に取り組んだ。楽農会児童や環境委員会児童とともに野菜の種や苗植え、雑草取り、支柱等の世話、収穫等一連の農業体験のサポートしていただいた。正門にある花壇の世話も子供たちと行い、活動中は防犯サポートも任も担った。

収穫した野菜は給食で使われるだけでなく、児童が持ち帰るため保護者の学校への理解や協力も得られた。子供たちの心が豊かになるとともに、応援団への感謝の気持ちを高め、自主的にお礼を伝える児童たちが増えた。



### 4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果

安全な学校環境を維持と児童と地域の方との触れ合い、児童の豊かな体験活動の場となった。

- (2) 課題

学校からの要望によるものだけでなく、地域の方の思いや願いから今年度新しい応援団ができたが今後も聞き取り、より充実をさせていく。



## 新座市立東野小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

- ◎「地域とともにある学校づくり」を目指す
- ・学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子供を育てる体制づくり
- ・地域の多様な経験や技術を持つ人たちとの連携・協働（外部人材の活用）
- ・子供たちの安心、安全な環境の確保
- ・できる人が、できる事を、できる時に、できる範囲で

### 2 事業の計画

- ・清掃ボランティア…大掃除に合わせて掃除、エアコンフィルタの掃除
- ・東野ガーデナー…体育館前花壇、あおぞら農園の管理、支援
- ・ぱたぽん…本の読み聞かせと通信の発行
- ・図書ボランティア…図書室の壁面装飾制作、本の修理や書架の整理
- ・農業支援員…1～3年生・あおぞら学級における農園活動の支援
- ・漢字検定実行委員…全学年希望者に向けての漢字検定の運営補助
- ・父親の会…防災キャンプ、ミニ四駆教室、校内のワックスがけ
- ・シルバー見守り隊、スクールガードリーダー…児童の登下校の見守り活動

### 3 事業の実際

父親の会として様々な児童参加型の取組を企画し運営している。まずは、9月16日（土）17日（日）に二日間にわたり実施した防災キャンプである。30名以上の児童と家族の参加があり、新座消防署の指導の下、消火訓練、煙体験、炊き出し訓練等が行われた。

また、恒例の行事として2月4日にミニ四駆教室を開催予定である。昨年度まで希望多数で抽選を行っていた反省を生かし、今回は2部制として計画している。さらには、校舎内の美化活動としてポリッシャーによる廊下のワックスがけを行ってくださる予定である。



### 4 取組の成果と今後の課題

- 学校応援コーディネーターを中心に、各応援団代表によるリーダーシップのもとコロナ禍以前のような活気ある活動が展開できた。
- 各団体の取組により、教職員にとっても負担軽減につなげることができた。
- 応援団の世代交代等による人員不足が懸念されるため、活動内容の周知を積極的に行い人員確保に努める。

## 新座市立栄小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

本校では、学校教育目標である「自分が好き、友だちが好き、栄が好き」のもと、教育課程を広く保護者や地域に開き、児童の健全育成を目指している。児童が地域の大人と関わり、認められる経験をすることで、自己肯定感を育み、「自分が好き、友だちが好き、栄が好き」、そして将来の地域社会・ふるさとを担っていける人材が育てられると考えている。

### 2 事業の計画

- ・おはなし隊…毎週木曜日、朝の時間に読み聞かせを行ったり、季節ごとに図書室の装飾をしたりする。
- ・学習支援…家庭科（手縫い・ミシン）の補助をはじめ、算数の個別指導など様々な教科の補助をする。
- ・えのころぐさ…植栽計画及び花壇の世話をする。
- ・見守り隊…登下校時の安全パトロールを行う。
- ・環境美化…芝生の除草、外トイレの掃除をする。
- ・おやじの会…廊下のポリッシャーがけ、ワックスがけをする。

### 3 事業の実際

学習支援のミシン補助

例年、5・6年生の手縫いやミシンの補助をお願いしている。ミシンに関しては、ミシンの修理を生業とされていた方もおり、毎年ミシンの学習の前に修理点検をしていただいている。安全・安心にミシンの学習が始められる。

栄小に無くてはならない存在である。



### 4 取組の成果と今後の課題

#### (1) 成果

新たに「えのころぐさ」を発足した。保護者からPTA役員を通じて、主体的に発足した応援団である。また、「オープン授業」でも参加を呼びかけ、多くの地域の力を借りることができた。栄小の教育活動への期待を感じている。

#### (2) 課題

今後も学校応援団への参加者を広く募りたい。HPやC4t h等でPRしていく。

## 新座市立石神小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

学校教育目標を具現化するにあたり、PTAを核とした学校応援団を組織し、活動にあたっている。保護者や家庭・地域と連携した教育活動を行い、児童の健やかな成長に寄与することをねらいとし実践している。

### 2 事業の計画

- ・おはなしこんぺいとう…月1回、朝読書の時間に読み聞かせを行う。
- ・てしごとこんぺいとう…定期的に図書室内の装飾や本の修理、蔵書点検の補助を行う。また、図書イベントで使用するしおりを作成する。
- ・どろんこの会…学校前の「ふれあいの路」を整備する。委員会児童と植栽活動を行う。
- ・おやじの会……運動会の保護者誘導やテント等の片付け作業や敷地内の花壇・農園管理を行う。
- ・防犯パトロール…地域の方が中心となり、登下校の見守りを行う。

### 3 事業の実際

「どろんこの会」の活動の様子

毎月第1・3火曜日の午前中に学校前の花壇「ふれあいの路」の整備や当番の水やりなどを中心に活動している。今年度は、コロナ禍で控えていた委員会児童との植栽活動や学校内にある校門の前花壇の整備にも取り組んだ。児童たちも普段できないことを体験することができ、好評だった。



### 4 取組の成果と今後の課題

#### (1) 成果

- ・コロナ禍で控えてきた活動も以前の経験を踏まえ、今後も継続できる活動となるように工夫しながら実践することができた。
- ・学校敷地内の整備（花壇、防草シートの張替えなど）を連携しながら活動ができた。

#### (2) 課題

- ・各応援団の参加者が増えるよう、幅広く募集し、手立てを考え実践する必要がある。

# 新座市立新開小学校の学校応援団の実践

## 1 実践のねらい

学校・家庭・地域が一体となって子供たちの育成と学校の活性化を図り、家庭や地域の教育力の向上を目指すとともに、開かれた学校づくりを推進している。

今年度のPTAのスローガン「SDGsの新時代～未来へ繋がる新開の輪」のもと、学校・家庭・地域の三位一体の連携により、潤いと活力のある笑顔あふれる新開小学校にすることを目的とする。

## 2 事業の計画

- (1) 校内清掃ボランティア…校地内施設の整備（今年度は扇風機と教室清掃）
- (2) 読み聞かせ「おはなしひろば」…月1回、朝の時間帯での読み聞かせ
- (3) 生活補佐員…新入学生の給食配膳の補助（例年4月～5月初旬まで）
- (4) 花植えボランティア…児童玄関前にて季節ごとの花の植え替え作業
- (5) 全校遠足見守りボランティア…地域の公園を巡る全校遠足で、安全の見守り
- (6) 飾り作成・設置ボランティア…七夕や節句における飾りの作成及び設置
- (7) ミシン学習ボランティア…家庭科ミシン学習の支援及び補助
- (8) 児童の安全見守りボランティア…登下校時における児童の安全見守り活動
- (9) 授業支援ボランティア…授業において配慮が必要な児童への支援
- (10) 図書室蔵書ボランティア…蔵書点検、図書の整頓

## 3 事業の実際

### 《授業支援ボランティア》

4年前コロナウイルス感染症対応のため入学が遅れた1年生の授業支援から始まった。現在は特別支援学級の授業支援を3名のボランティアの方が日替わりで毎日支援にあたっている。一人一人の特性をよく理解してくださり、温かい声掛けや支援のお陰で、子供たちは集中して課題に取り組んでいる。全校遠足や運動会などの行事にも一緒に参加して下さるので、いつもと違う状況でも安心して行動することができている。



## 4 取組の成果と今後の課題

- (1) 取組の成果
  - ・学校応援団の活動を通じて、児童・教員・保護者・地域の方々の交流を図ることができた。
  - ・児童の安全の確保や学びの環境を整えていただくことで、学習意欲の向上、豊かな心の育成、大人と絆の深まり等、良い影響をもたらした。
- (2) 今後の課題
  - ・お知らせや参加者の募集方法等を工夫して負担軽減をしていきたい。
  - ・学校応援団コーディネーターの後継者の育成と地域人材の更なる発掘が必要である。

## 新座市立栗原小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

本校では、「やりたい時にやりたいことから、できることをできる時に」を合い言葉に、各応援団の枠にとらわれず広く様々な活動に参加してもらるように進めてきた。「開かれた学校づくり」実現のため、学校・家庭・地域の連携を強化することをねらいとして、実践に取り組んだ。

### 2 事業の計画

- (1) 学習・行事応援団…学習支援（ミシン学習補助・かけ算九九検定）  
学校行事の支援（運動会の片付け補助、持久走大会の安全見守り、学区探検などの引率補助）
- (2) 学校図書館応援団…年6回程度、図書室・図書室前廊下壁面の装飾、児童の絵の貼り替え(階段)
- (3) 読み聞かせ応援団…月1回、全学級において読み聞かせの実施、読み聞かせ通信発行
- (4) 環境応援団…飼育園芸委員会の児童と共にプランターの花植え  
花壇整備を中心に学校環境の美化活動、学校農園の手伝い
- (5) 地域応援団…児童の安全確保のための登下校見守り活動
- (6) 広報応援団…広報紙の発行
- (7) 学校運営協議会…年5回、教育活動を参観し意見具申や学校運営の評価

### 3 事業の実際

学習・行事応援団による学習支援の様子

高学年のミシン学習、中学年の学区探検や自転車教室、2年生のかけ算九九検定などの支援や手伝いをお願いしている。

団長や副団長が募集の手紙を作成・配布したり、学年の先生方と連携して学校だよりや学年だよりに掲載したりして、広く周知し募集した。

参加した保護者からは、「子供たちの普段の学校生活や学習の様子が見られてよかった。」「九九検定で合格して喜んでいる姿を見て、自分もうれしくなった。」と好評だった。



### 4 取組の成果と今後の課題

#### (1) 成果

学校応援団の様々な活動を通して、教職員と保護者・児童との交流が深まっている。

#### (2) 課題

参加者が一部の保護者に偏る傾向があるので、ホームページや学校便り、保護者間での誘い合いなどでPRし、さらに新規参加者を増やしたい。

## 新座市立陣屋小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

「地域や保護者と共にあるコミュニティ・スクール陣屋」の推進のために、家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制を構築し、教職員が子供たちと向き合う時間を確保すること、家庭・地域の教育力に活性化を図ること及び教育環境に潤いを持たせることをねらいとしている。

### 2 事業の計画

- ◇読み聞かせボランティア…「おはなしびっくり箱」として、毎月1回、各教室で読み聞かせを行う。今年度は、朝の時間（低学年）と給食後（中・高学年）に実施。
- ◇図書掲示ボランティア…季節に合わせて図書室の壁などを装飾する。
- ◇学校安全ボランティア…登下校時、交差点等で児童の見守り活動を行う。
- ◇クラブ活動支援ボランティア…茶道クラブ、和太鼓クラブそれぞれに外部指導者が関わり、専門的な指導や助言を行う。
- ◇学校運営協議会委員…学校運営の基本方針の承認を行い、保護者や地域との連携の橋渡し役として、コミュニティ・スクールの中核機能を担う。

### 3 事業の実際

- ◇クラブ活動支援ボランティア 茶道クラブ・和太鼓クラブ

4・5・6年生が参加するクラブ活動において、地域の専門的な方が直接指導に当たってくださっている。茶道クラブでは、睡足軒及び本校図書室において、茶道の基本所作を指導。年度末には、睡足軒にてお茶会を実施。和太鼓クラブでは、音楽室にて和太鼓のたたき方を指導。本年度は町内会のお祭りに参加。練習の成果を披露した。両クラブとも、数年継続して取り組む児童が多い。



### 4 取組の成果と今後の課題

#### (1) 成果

- ・子供たちの学びが、豊かに、充実したものになる。（読み聞かせ・クラブ活動など）
- ・保護者以外の方と交流ができ、様々なご意見を伺うことができる。

#### (2) 課題

- ・協力してくださる方が固定化されてきている。今後、応援団の種類を増やしていきたいが、いかに協力者を増やしていくかが課題である。

## 新座市立新座小学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

「できる人ができる時にできる事」を合言葉に、多くの方に学習支援、学校農園やギャラリー管理運営、図書室支援などの実践に取り組んでもらい、開かれた学校づくりを実践している。

### 2 事業の計画

- (1) 家庭科支援…5・6年生ミシンの操作支援及び、点検
- (2) 学校農園支援…畑での野菜作り  
校内の田んぼでの田植えから脱穀、しめ縄作り等
- (3) 読み聞かせ…月1回全学級において読み聞かせ実施
- (4) 授業支援…町探検やザリガニ釣りなどの校外での学習補助
- (5) 日本語補助…日本語を母語としない児童への教科書読み聞かせ
- (6) 1年生給食補助…入学当初の1年生の給食指導補助
- (7) 図書室支援…月1回程度 本の整理及び補修、図書室の飾り作成
- (8) 植栽活動…学校花壇の整備
- (9) 学校ギャラリー管理運営…はなみずきギャラリーの装飾
- (10) わいわい…2か月に1度、校庭の草取り、プール清掃

### 3 事業の実際

- (1) 学校農園支援の活動の様子

学校農業支援では、生活科や総合的な学習の時間に行われる野菜作り、米作りの支援を行っている。農業の専門的な知識を提供していただいたり、田んぼや畑の整地、草取り、水やり等、児童が学習時間内だけではできないことを補っていただいたりしている。

とくに、5年生の米作りでは、田植えから稲刈り、脱穀、しめ縄づくりまで年間を通して支援をしていただいている。



### 4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果

授業支援などをしていただくことで、子供たちが安心して学習に取り組めた。学校環境美化や授業準備を補助していただき教職員の負担軽減につながった。

- (2) 課題

高齢化により参加者が減少しているため、学校応援団活動を広めていき参加者を増やしたい。

## 新座市立新座中学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

県内第一号のコミュニティ・スクール中学校として精力的に取り組んでいる本校は、学校教育目標「強く 明るく 考える」と経営方針「地域が元気（地域の誇り、地域の財産、コミュニティ・スクール）」を推進しており、学校の活性化と教育力の向上を目指して、保護者と地域がより一層一体となって学校を支援する様々な活動を実施している。

### 2 事業の計画

時 期	事業内容
年 間	さわやか運動、読み聞かせ、学校運営協議会、部活動ボランティア、校舎内外見回り、農業支援員
随 時	学校の環境を考える会（中庭整備、花の水やり、除草作業、エアコン・扇風機清掃） 新座グリーンキャンペーン（人工芝設置プロジェクト）

### 3 事業の実際

地元企業と奉仕委員会の合同事業として令和3年度から学校応援団による「人工芝設置プロジェクト」を継続している。設置の際のレクチャーでは地域の方とのコミュニケーション、職人技に触れる機会となっている。また、学校応援団による除草作業後の校地を有効活用することを目的としており、除草作業箇所の縮小、体育授業や部活動時のトレーニング、生徒の外遊びや憩いの場所として利用している。



### 4 取組の成果と今後の課題

#### (1) 成果

この作業体験を通して地元企業と交流する機会を得たこと、「自分たちにとって心地よい居場所づくりを生徒自身が行い、継続して維持・管理する姿勢を学ぶ」という本取組を継続していくことで保護者と地域、生徒の手によって、学校施設の充実が図られている。

#### (2) 課題

人工芝設置前の除草作業と整地や樹木の伐採等について、諸活動との日程調整や定期的なメンテナンスが必要である。



## 新座市立第二中学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

家庭・地域と協力して、生徒の健やかな育成を図り、生き生きとした元気な学校づくりを目指す。

- (1) 学校・家庭・地域が一体となった教育活動を展開することにより、活力のある学校づくりを推進する。
- (2) 生徒の登下校時における安心・安全の見守り活動を推進する。
- (3) 地域にある有益な教育力を学校教育に活用する。

### 2 事業の計画

- (1) 環境係：6月、10月と2月の花植えと年間を通して花壇の手入れを実施する。
- (2) 下校パトロール係：生徒の最終下校時刻後に学区内をパトロールする。
- (3) 読み聞かせボランティア「おはなしの雫」：月3回(学年ごと)、金曜日の朝読書の時間に読み聞かせを実施する。
- (4) ピアサポーター：大学生による生徒への学習支援を行う。



### 3 事業の実際

今年度より始まった長寿命化工事に伴い、校内のいたるところで工事が行われる中、学校応援団の方々により植えられた花々は学校に潤いをもたらせてくれている。新型コロナウイルスの影響により中断し、昨年度途中から再開された「おはなしの雫」(読み聞かせ)は、今年度はすっかり定着し、生徒の豊かな心を育てている。長寿命化工事に伴う荷物の整理作業では、ボランティアを募り、作業を手伝っていただいた。

### 4 取組の成果と今後の課題

#### (1) 取組の成果

読み聞かせについては、小学生向けの絵本の読み聞かせではあるが、毎回、生徒たちの楽しそうに聴いている姿が見られる。

長寿命化工事に伴う荷物の整理作業では、保護者だけでなく、地域の方にも参加いただき、学校・家庭・地域が協働して作業を進められた。

#### (2) 今後の課題

応援団員をさらに募り、連携を強化し、活動の充実を図っていく。ホームページ上に学校応援団の紹介動画を掲載したり、学校行事の際に募集のためのチラシを配布したりして工夫をしているが、広く周知するため、さらなる工夫をすることが今後の課題である。

## 新座市立第三中学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

「生徒一人一人の力が伸びる学校」の実現をめざして信頼関係の構築を図るとともに、アイデアと工夫で地域の豊かな教育力を学校の教育活動に積極的に取り入れ、保護者・地域に開かれた学校づくりをめざしている。

### 2 事業の計画

- (1) 朝の声かけボランティア…年4回活動し、8:00～8:30正門～サンロードであいさつ運動を行う。
- (2) グリーンボランティア…年2回、校内外の花壇・植栽等の植え替え、手入れ、草取り等を行う。環境委員会、PTAボランティアと連携。
- (3) 部活動ボランティア指導員…部活動の際、専門的指導を行う。
- (4) 学校行事ボランティア…体育祭、合唱祭での駐車場、交通整理等をサポートする。
- (5) 読み聞かせボランティア…月2回、朝読書の時間に10分間の読み聞かせを行う。
- (6) バザーボランティア…10月の三中バザーの準備、運営、片付けを行う。
- (7) 三中校区ふれあいクリーン作戦…自宅付近から通学路のゴミを拾って三中で集約する。

### 3 事業の実際

「グリーンボランティア」の活動の様子

6月・11月に校内外の花壇・植栽等の植え替え、手入れ、除草を実施した。日常の水やり・整備を担当する環境緑化委員会の生徒は、卒業後も地域に貢献しようとする豊かな心が醸成されている。



### 4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果…コロナが5類となり、来校の制限を撤廃し、コロナ前に近い形での活動を展開でき、保護者・地域との絆が深まった。
- (2) 課題…持続可能な活動とするため、各ボランティアとの連絡調整や人員募集、来校しなくてもできる活動等を工夫、開発していくとともに、生徒と一緒に活動にしていきたい。

## 新座市立第四中学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

- 本校の校訓である「自主・自律・協同」の具現化のため、学校応援団を組織し、地域で子どもをはぐくむ魅力ある学校づくりを推進する。
- 学校応援団は、学校環境整備への協力・支援、生徒の安全確保への協力・支援などをおして生き生きと学ぶ生徒の育成と、学校教育活動の一層の充実に資することを目的とする。

### 2 事業の計画

- (1) 学校応援団の活動（環境整備、読み聞かせ 等）
- (2) 学校応援団の活動の実践
- (3) 今年度の反省と次年度の活動への検討

### 3 事業の実際

「読み聞かせボランティア」は、読み聞かせ活動によって「子ども達の心を耕す」ことを目的にし、「クローバーの会」と名付けられた。このボランティアは本校の学校応援団の創設時から参加を頂いている方の他に、年度ごとに新たに加わって活動されている方々による継続的な活動となっている。活動時間は8：30からの各教室の「朝読書」時間での10分間。月2回程度の水曜日が活動日となっており、年2回の選書会にて活動内容を調整している。

今年度は、学校応援団補助金を使い、紙芝居舞台と読み聞かせ用の図書を新たに購入した。生徒の興味をより一層引き付け、本に親しむきっかけとなるような工夫を、常に考えて活動している。



今年度購入した書籍、紙芝居舞台



読み聞かせ（クローバーの会）

### 4 取組の成果と今後の課題

#### (1) 成果

コロナ禍が明け、本年度は通常通りの活動を展開することができた。毎月の「クローバーの会」による読み聞かせは、1学年ごと実施し、生徒は興味をもって読み聞かせを聞き、本に込められたメッセージを感じ取ることができた。生徒達は心の面でも、たくさんの方々から見守られていることを実感できる貴重な機会となっている。

環境整備ボランティアは、職員の作業では整備が追い付かない草木の伐採に尽力いただいている。特に夏は植物の生育がはやく、頻繁に学校に足を運んでいただいた。また、見通しが悪いところや、死角になっているところについても、樹木の伐採をしていただき、学校の安全・安心な環境整備につながっている。

#### (2) 課題

学校応援団の活動に対して、学校だよりやHP等に掲載することで、参加者の拡大を図っているが、現状に大きな変化はない。地域と連携した組織づくりを進めていくためにも、活動を広め、拡大できるように努めていく。加えて、学校応援団活動を持続可能なものとしていくためには、参加された方に気持ちよく活動していただくことが必要であることから、校内に活動を周知するとともに、生徒との触れ合いの場も検討していく。

# 新座市立第五中学校の学校応援団の実践

## 1 実践のねらい

本校の学校教育目標は「明朗・清潔・信頼」であり、この目標の具現化や開かれた学校づくりの推進のため、学校での教育活動を支援する保護者や地域住民によるボランティア活動組織として「第五中学校学校応援団」がつけられている。

実践の主たるねらいは、以下のとおりである。

- (1) 家庭・地域の教育力の向上と学校教育への積極的な活用
- (2) 学校・家庭・地域の活力を束ねる活動の推進
- (3) 地域の人々との交流を通じた生徒の健全育成である

## 2 事業の計画

- (1) 学校運営協議会
- (2) 緑化活動ボランティア
- (3) 校外パトロール
- (4) 体育祭パトロール
- (5) 朝あいさつ活動
- (6) 部活動ボランティア(卓球)
- (7) 部活動ボランティア(剣道)
- (8) 五中フェスタ活動
- (9) おはなしの泉(読み聞かせ)



## 3 事業の実際

【緑化活動ボランティア】の活動の様子

7月～3月の全7回に渡って緑化活動をしていただいた。花壇の除草や植え替え作業、花壇整備、畑の除草作業といった主な活動に加えて、卒業生に向けてのメッセージボード作成、コサージュの作成をしていただいた。

## 4 取組の成果と今後の課題

- (1) 取組の成果
  - ・この活動を通して、保護者、地域との交流が深まった。また、学校の環境整備や卒業生に向けての温かい取組によって、生徒には感謝の気持ちが育まれた。
- (2) 今後の課題
  - ・地域との協働をさらに図り、いろいろな活動を広めていくことが必要である。
  - ・学校応援団のメンバーが固定化しているので、幅広く募集をしていく必要がある。また、緑化活動に関しては炎天下での活動も多く、短時間での活動となってしまった。
  - ・保護者地域同士の交流は生まれたが、保護者地域と生徒、教員の直接的な交流までは達しなかった。

## 新座市立第六中学校の学校応援団の実践

### 1 実践のねらい

本校の教育目標は、「自主・責任・明朗」である。学校応援団は、学校環境整備への協力・支援、生徒の安全確保への協力・支援などをおして生き生きと学ぶ生徒の育成と、学校教育活動の一層の充実、さらに登下校等の安全確保に資することを目的とする。

### 2 事業の計画

- ・ 声かけボランティア「朝のコミュニケーション運動」  
校区内7か所で年4日間、あいさつ運動を展開する。
- ・ 園芸ボランティア・農業支援員  
年2回生徒会（美化・緑化委員）とともに、花壇の花植え活動を行う。
- ・ 学校行事支援ボランティア  
行事を中心に、受付、駐輪場整理など、運営面での支援を行う。
- ・ 読み聞かせボランティア  
毎学期、朝の業前の時間に各クラスにおいて読み聞かせを行う。
- ・ 学校運営協議会  
授業参観等をおして生徒の実態を把握し、教育活動への助言を行う。  
(年6回の実施)

### 3 事業の実際

「花壇ボランティア」の活動の様子

元PTAや地域の方にご協力いただき、コロナ禍において活動を停止していた「花壇ボランティア」の活動を、今年度改めて再開した。

学校応援団の方には、資材の購入や下準備もやっただいている。「美化・緑化委員会」の生徒との一緒になって花植え活動等を行ったり、特別支援学級の生徒と野菜作りを行ったりしている。



### 4 取組の成果と今後の課題

#### (1) 成果

専門性を持った地域人材の活用により、生徒の学習活動の質を高めることができた。また、地域の方とのかかわりを持つことで、社会性を身に着けるとともに、地域への理解・愛着が深まった。

#### (2) 課題

コロナ禍において、活動が大きく縮小している。学校応援団について地域に周知し、活動に携わる方を増やして行くことが必要である。

令和5年度新座市教育委員会学校支援地域本部

発行日 令和6年3月